

各種一覧

■分子科学フォーラム

回	開催日時	講演題目	講演者
第106回	平成27年10月17日	宇宙の光で見えない分子を探る	繁政 英治 (分子科学研究所 極端紫外光研究施設・准教授)
第107回	平成27年10月17日	「はやぶさ」1号2号が拓く宇宙探査	國中 均 (宇宙航空研究開発機構 宇宙探査イノベーションハブ・ハブ長)
第108回	平成28年2月5日	生物活性分子の新しい世界	上杉 志成 (京都大学 物質-細胞統合システム拠点・教授)

■分子研コロキウム

回	開催日時	講演題目	講演者
第872回	平成27年9月18日	マイクロ流体デバイス技術の創薬・医療応用	竹内 昌治 (東京大学 生産技術研究所・教授)
第873回	平成27年10月5日	The science of peer-review	Iulia Georgescu (Senior Editor, Nature Physics)
第874回	平成27年10月8日	Photosynthetic Light Harvesting from Individual Complexes to the Grana Membrane	Prof. Graham R. Fleming (University of California, Berkeley)
第875回	平成27年10月16日	スピン流の物理と応用	齊藤 英治 (東北大学 金属材料研究所・教授)
第876回	平成27年11月6日	The Mystery of Water; X-rays Provide Unique Insights	Prof. Anders Nilsson (Department of Physics, Stockholm University)
第877回	平成27年11月17日	Optical Control of Atomic Interactions at Nano-Kelvin Temperatures	Prof. Cheng Chin (The University of Chicago)
第878回	平成27年11月18日	Quantum Localization in Laser-Driven Molecular Rotation	Ilya Sh. Averbukh (Weizmann Institute of Science, Israel)
第879回	平成27年11月20日	Path from Microscopics to Phenomenological Theories: Examples from Physical Chemistry and Condensed Matter Physics	Prof. Biman Bagchi (Indian Institute of Science, India)
第880回	平成27年11月20日	Computer Simulation Study of Carbon-based Supercapacitors with an Ionic Liquid Electrolyte	Prof. Hyung Kim (Carnegie Mellon University, USA)
第881回	平成28年1月15日	迅速合成触媒が拓く生命機能分子・ナノ炭素分子のサイエンス	伊丹健一郎 (名古屋大学トランスフォーメティブ生命分子研究所・教授)
第882回	平成28年1月28日	Molecular quantum gas – a new frontier for quantum physics and chemistry	Prof. Jun Ye (JILA, University of Colorado/NIST, USA)

■人事異動 (平成27年6月2日～平成27年11月1日)

異動年月日	氏名	区分	異動後の所属・職名	現(旧)の所属・職名	備考
27. 6.16	山西 克典	採用	生命・錯体分子科学研究領域錯体触媒研究部門 研究員		
27. 6.16	陌間 梢	採用	生命・錯体分子科学研究領域錯体触媒研究部門 技術支援員		
27. 6.30	南野 智	退職		技術課 技術支援員	
27. 6.30	蛭川 暁	退職		岡崎統合バイオサイエンスセンター生命動秩序形成研究領域 特任研究員	
27. 7. 1	谷中 冴子	採用	生命・錯体分子科学研究領域生体分子機能研究部門 特任助教 (分子科学研究所特別研究員)	日本学術振興会特別研究員 (PD)	
27. 7. 1	LIM, Hwanhong	採用	分子制御レーザー開発研究センター先端レーザー開発研究部門 研究員		
27. 7.17	東海林 麻美	退職		岡崎統合バイオサイエンスセンター生命動秩序形成研究領域 技術支援員	
27. 7.31	大國 泰子	退職		協奏分子システム研究センター機能分子システム創成研究部門 技術支援員	
27. 7.31	藤倉 佳華	退職		協奏分子システム研究センター機能分子システム創成研究部門 技術支援員	
27. 8.16	MIRIAN, Najmeh Sadat	採用	極端紫外光研究施設 光源加速器開発研究部門 研究員 (IMS フェロー)		
27. 8.16	田中 隆	採用	技術課 (装置開発室) 技術支援員		

異動年月日	氏名	区分	異動後の所属・職名	現(旧)の所属・職名	備考
27. 9. 1	YU, Liwei	採用	物質分子科学研究領域電子構造研究部門 特任研究員	九州大学農学研究院 学術特別研究者	
27. 9. 1	大 国 泰 子	採用	岡崎統合バイオサイエンスセンター生命動秩序形成研究領域 技術支援員		
27. 9.15	XU, Hong	辞職	(米国) コーネル大学 ポスドク	物質分子科学研究領域分子機能研究部門 研究員	
27. 9.30	村 橋 哲 郎	兼任終了	(東京工業大学院理工学研究科 教授)	協奏分子システム研究センター機能分子システム創成研究部門 教授(兼任)	
27. 9.30	山 口 拓 実	転出	北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科 准教授	生命・錯体分子科学研究領域生体分子機能研究部門 助教	
27. 9.30	WANG, Weiwei	辞職	熊本大学大学院自然科学研究科 博士研究員	理論・計算分子科学研究領域計算分子科学研究部門 研究員	
27. 9.30	PANDIT, Palash	退職		協奏分子システム研究センター機能分子システム創成研究部門 研究員	
27.10. 1	甲斐 憲子	採用	生命・錯体分子科学研究領域錯体触媒研究部門 技術支援員		
27.10. 3	HUANG, Ning	採用	物質分子科学研究領域分子機能研究部門 研究員		
27.10. 3	SHENG, Li	辞職		岡崎統合バイオサイエンスセンター生命動秩序形成研究領域 研究員	
27.10.10	TIAN, Yukui	採用	物質分子科学研究領域分子機能研究部門 研究員 (IMS フェロー)		
27.10.15	矢木 真穂	辞職	分子科学研究所生命・錯体分子科学研究領域生体分子機能研究部門 助教	岡崎統合バイオサイエンスセンター生命動秩序形成研究領域 特任助教	
27.10.16	矢木 真穂	採用	生命・錯体分子科学研究領域生体分子機能研究部門 助教	岡崎統合バイオサイエンスセンター生命動秩序形成研究領域 特任助教	
27.10.16	矢木 真穂	命 ずる	岡崎統合バイオサイエンスセンター生命動秩序形成研究領域 助教	(分子科学研究所生命・錯体分子科学研究領域生体分子機能研究部門 助教)	
27.10.31	内藤 寛恵	辞職		岡崎統合バイオサイエンスセンター生命動秩序形成研究領域 技術支援員	

<出身者の消息>

木下一彦 2001年4月 岡崎国立共同研究機構統合バイオサイエンスセンター教授
2005年4月 早稲田大学理工学部物理学科教授
2015年11月 逝去 享年 69

編集後記

分子研レターズの編集委員長として6年間、務めてきましたが、今回が最後です。この間、皆さんに読んでいただける記事をふやすべく、執筆者にも協力をお願いしながら、工夫を重ねました。広報部門が属する研究力強化戦略室で読みやすい表現への校正を行うようにしました。各編集委員の役割は、記事についてアイデアを出していただくことに集中させ、原稿を集めるなどの作業は減らす方向で進めました。巻頭言やレターズ欄の執筆者は激務の方が多く、場合によっては1年以上前から予約しておく必要があります。それでも今回のように抜けが生じることもあり、楽しみにして下さっている読者の皆様に申し訳なく思っております。

分子研は昨年4月に40周年を迎え、分子研が関係者の総意のもとに創設された頃を所内で知っているのは唯一60歳代の私が最後になりました。当時の40歳、50歳の熱気あふれる関係者たちは80歳、90歳になっています。完全な世代交代が行われるのは時間の問題です。今後、分子研も大学のように外圧や内圧で変化していくことでしょう。しかし、根本のところはかわらないものと思いたいです。分子研レターズでは皆さんが好き勝手に将来への提言を書き、読者から分子研として大丈夫なのかという意見をいただいたことがあります。それに対し、私はまとまりなく見えても根本のところはかわらないと説明しました。創設時の設計通り、分子研と大学の間で頭脳循環が活発に行われ、所内と所外が頻繁に入れ替わる中、大学に任せる部分、分子研が担う部分について、過激な意見を含めていろんな意見を積み重ねていくうちに、分子研のカルチャーが形成されてきたのだと思います。分子研の資料室で昔の分子研レターズや各種報告書などの史料をカルチャーの面から探してみるのもおもしろいかも知れません。

編集担当 小杉 信博

分子研レターズ編集委員会よりお願い

■ご意見・ご感想

本誌についてのご意見、ご感想をお待ちしております。また、投稿記事も歓迎します。下記編集委員会あるいは各編集委員あてにお送りください。

■住所変更・送付希望・送付停止を希望される方

ご希望の内容について下記編集委員会あてにお知らせ下さい。

分子研レターズ編集委員会

FAX : 0564-55-7262

E-mail : letters@ims.ac.jp

<https://www.ims.ac.jp/>

I M S Letters

分子研と研究者をつなぐ

VOL. 73

分子研レターズ

発行日 平成28年3月(年2回発行)

発行 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

分子科学研究所

分子研レターズ編集委員会

〒444-8585

愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38

編集 小杉 信博(委員長、編集担当)

大迫 隆 男

加藤 晃 一

斉藤 真 司

繁 政 英 治

江 東 林

西 村 勝 之

平等 拓 範

古 谷 祐 詞

柳 井 毅

山 本 浩 史

原 田 美 幸(以下広報室)

鈴木 さとみ

中 村 理 枝

デザイン 原 田 美 幸

印刷 株式会社コムラ

本誌記載記事の無断転載を禁じます